

# エコエアポートの推進

## ☆エコエアポートとは

『エコエアポート』とは、地球環境や地域環境の影響を低減させようとする目的から、空港及び空港周辺地域においても、環境の保全及び良好な環境の創造を推進する施策のことです。

## ☆対象となる空港

国土交通大臣が設置管理する空港を対象とします。なお、その地方公共団体等が管理する空港においても、同様な取組を行うよう情報提供をしています。

## ☆推進方法

空港ごとに「エコエアポート協議会」を設置して、空港管理者だけでなく空港内事業者等（ターミナルビル・航空会社・地方公共団体等）とともに取組を実施していきます。このため航空局では平成15年8月に『エコエアポート・ガイドライン（空港環境編）』（平成18年3月改訂）、また平成17年7月に『エコエアポート・ガイドライン（周辺環境編）』を制定し、実施可能な空港から順次空港環境計画、周辺環境計画を策定し、これに従い各種環境対策を推進していきます。

## ☆ 基本理念

### 空港環境対策

- 大気：空港運営に伴い発生する汚染物質を極力無くし、大気に及ぼす影響を最小限に抑える
- 騒音・振動：空港運営に伴い発生・伝播する騒音・振動を極力無くし、空港及び空港周辺に及ぼす影響を最小限に抑える
- 水：空港運営に伴う排水等による水域及び地下水の汚染・汚濁の防止を図る。  
また空港における水消費量の削減、再利用及び水資源の保全等を図る。
- 土壌：空港運営に伴い使用される油脂類、各種の薬品・薬剤及び各種資材による土壌汚染を防止する
- 廃棄物：空港で発生する各種廃棄物のさらなる再資源化を図り、廃棄物の排出量を抑制すると共にリサイクルを推進する
- エネルギー：空港の運営に伴い消費されるエネルギーの削減を図り、地球温暖化ガスの排出削減に寄与する
- 自然環境：空港内における生態系の保全を図り、また創造することにより、空港周辺との環境共生を配慮し良好な自然環境を維持する

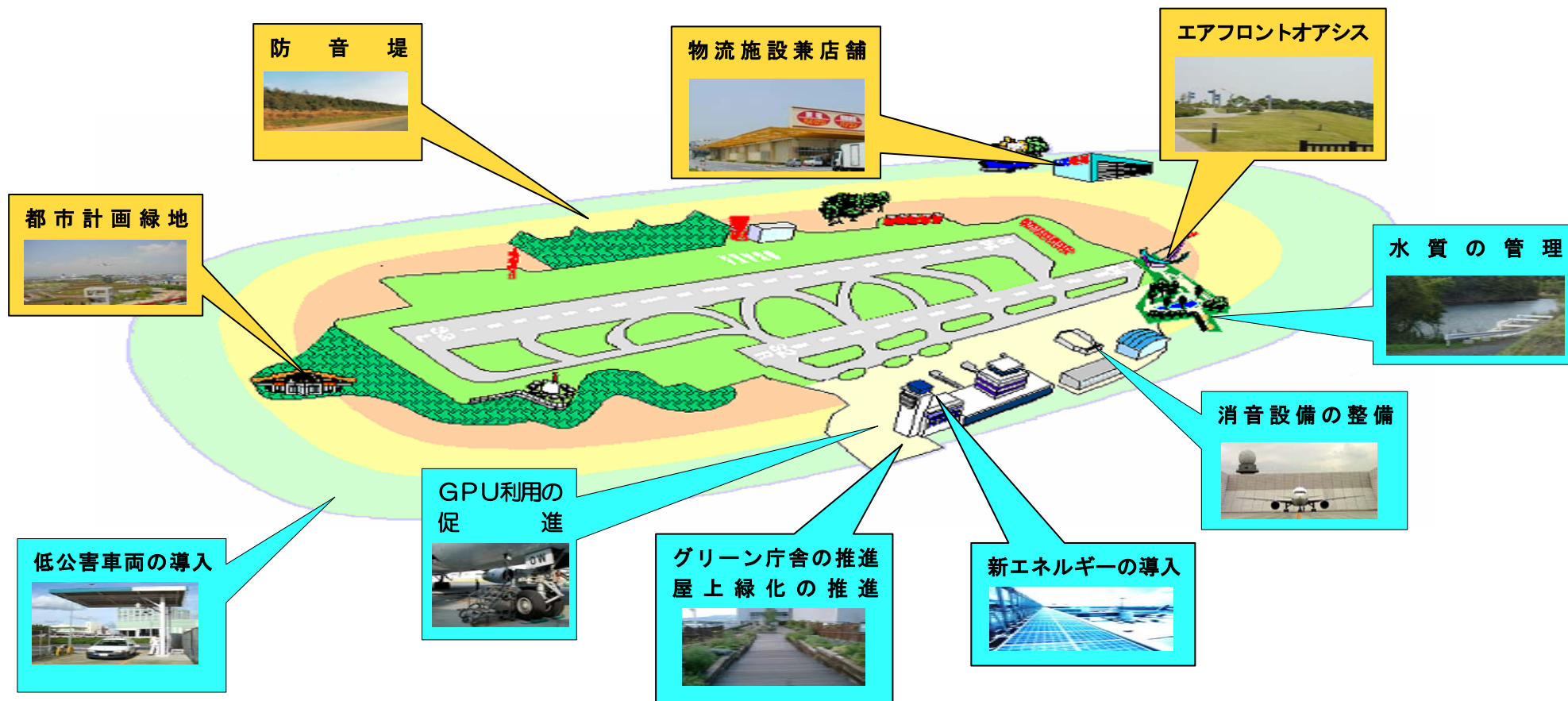
### 周辺環境対策

- 航空機騒音：航空機材等による発生源対策、空港構造の改良、住宅防音工事等の空港周辺対策を継続して推進する
- 空港周辺土地利用：移転補償跡地を有効活用し、地域に密着した騒音斉合施設\*の立地を促進し、面的整備を推進する
- 空港と地域の交流：空港と地域の交流により信頼関係を強化し、空港を活用した地域の活性化を促進する

\*倉庫や車庫等騒音の影響を受けない施設

### 周辺環境対策

◆騒音影響の軽減・解消に向け民家・学校等の防音工事等を進め、生活環境の改善や地球温暖化対策にも効果的な緑地整備を実施。また、新たな騒音斉合施設の整備に努め、移転補償跡地の活用を推進。



### 空港環境対策

◆空港の運用に伴い発生する大気汚染物質や、排水、廃棄物の影響の縮減やエネルギーの効率化、屋上緑化といった地域環境、地球環境への取り組みを実施。